

# 新友会政策モニター研修会開催 平成30年12月1日(土) 長野ホテル犀北館にて

## 講演会

### 演題 「自治体戦略 2040 構想研究会報告概要」

～2040年に向けて私達が今すべきことは～



我が国は、人口減少に歯止めがかからない状況のもと、2040年には、団塊の世代及び団塊ジュニア世代が高齢者となり、超高齢化社会を迎えると想定されており、このことは長野市も例外ではありません。  
 このような状況に対処するため、「私達は今何をすべきなのか」という課題について、本市企画政策部 西島 勉部長を講師に迎え研修会を行い、その後に意見交換会を行いました。  
 講演の中では、人口減少を踏まえ、子育てや教育、医療介護、公共交通やインフラ対策、さらに労働力等の課題や動向について説明を受けるとともに、長野市における新たな行政推進の基本的考え方について説明を受けました。



講師：長野市企画政策部長 西島 勉氏

## 懇談会



新友会政策モニター制度は、日頃から恒常的に市民の皆様のご意見を伺うための制度です。新友会では市政への要望書として提出し、市政に反映されるよう努力しております。

懇談会の中で、モニターの皆様による市政や地域の課題に対するご意見・ご要望をいただきました。主なものにつきましてご紹介いたします。

### 魅力ある地域づくり ～暮らし続けられる環境づくりのために～

#### (交通政策)

- 超高齢社会を向かえ、交通政策が最重要課題。新交通システムの導入を含めた研究が必要。
- 路線バス輸送システムがとて弱。バス会社の言いなりではないか？
- バス路線をはずれたエリアへの公共交通網が必要。中山間地域ではバス路線は生活インフラ。
- 長野市は河川で交通が分断されている。丹波島橋の4車線化、五輪大橋の早期無料開放を。
- 長野市全体の道路行政を考えると東外環状線、三才大豆島中御所線の早期開通が必要。

#### (都市計画)

- 景観条例の見直しの中で、高層施設誘導地域の検討も必要と考える。
- 善光寺東参道の早期整備を望む。

#### (公共施設)

- 公共施設マネジメントの徹底を要する。民間委託をもっと進めるべき。
- 被災時避難所として指定されている地域公民館へのエアコン設置が急がれる。
- 公共施設駐車場の夜間管理が不十分。不法な駐車を防ぐ管理徹底を望む。

#### (地域自治・振興)

- 住民自治協議会、区長会ともなり手がない。役員負担も大きくボランティアには限界。
- 支所、公民館、住民自治協議会の連携が良くない。
- 住民自治協議会間の格差が広がっている。面積、人口に応じた適正化を考えると、かかる判断をしたものです。市民の皆様のご理解をいただくとともに、変わらぬご支援をお願いできれば幸いです。

### 議員報酬の改定に関する新友会の対応

本市特別職報酬等審議会から、平成30年10月30日に諮問(30職第159号)に基づく答申が行われました。

答申は、特別職(市長・副市長・議員等)の報酬を1.15%上げることが適当であるとの内容でした。この理由として人事院勧告等により一般職の給料が4年連続で引き上げとなっていること、一層複雑化、多様化している行政課題への対応が求められ、市長及び市議会議員等の役割や責任が増大していること、さらに全国の中核市の給与と比較したとき平均より低い状況であることの3点があげられています。この間の審議会委員のご苦労とご尽力に、心より感謝を申し上げます。改めて市議会議員の役割と責任の重さを認識するとともに、市政発展に向けた思いを新たにしたいと考えています。

一方、前選挙からの任期中には、議員の酒気帯び運転事件、器物損壊事件により2名の議員が辞職し、改めて議員の倫理観が問われることとなりました。そこで、私ども新友会では、今期の区切りとなる来年1月までの1年間について議員報酬の改定を辞退する旨の修正案を総務委員会に提案しました。この修正案は委員会において承認されたのに本会議において議決されました。もちろん、議員個人の責任は、議会の責任なのか、なぜ1年間なのか等の疑問は感じられるとは思いますが、私たちは議員の不祥事を他人事とはせず自らへの戒めとするために、かかる判断をしたものです。市民の皆様のご理解をいただくとともに、変わらぬご支援をお願いできれば幸いです。

新友会は、市民の皆さまのご意見をお待ちしております。ご遠慮なく下記にご連絡ください。

(発行所) 長野市議会 新友会 〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地 長野市役所第一庁舎7F  
 (発行責任者) 小林 義直 TEL.026-226-4911(内線3931) FAX.026-229-6386 E-mail:shinyu@mx1.avis.ne.jp

- 住民自治協議会ができたことで良かったことも沢山ある。(大規模な祭り、恒例の夏山登山)
- 10年が経過した今、住民自治協議会について再確認する機会が必要である。(健康福祉関連)
- 長野市も待機児童が発生するとの報道。企業主導型保育事業含め保育施設充実を求む。
- 負担が少ない高齢者の「終の棲家」を考えて欲しい。
- 先べジ運動、高齢者の定義を75歳以上とする提言など長野市らしさがあって良い。(防災・減災)
- 避難マップの有る事は承知しているが、住民への徹底が必要と考える。
- 災害時要援護者の支援にあたる民生委員・消防団員をもっと強化すべき。(農業・鳥獣害対策)
- 農地プランの推進等、遊休農地を減らす対策が必要。新規就農者への支援も重要。
- イノシシ、鹿が明らかに増えている一方でハンターは高齢化、かつ減少傾向である。
- 野生鳥獣捕獲資格は取得時だけではなく継続登録に関する補助も必要。
- 中条地区に建設されるジビエ処理加工施設に期待している。

### にぎわいあるまちづくり ～交流人口の増加に向けて～

#### (商工・観光)

- 他市の大型ショッピングセンター誘致に対する対策が急務。
- 長野市内に新たな人の流れをつくるための今までは異なる手法での検討が必要。
- 善光寺を核に地域観光資源をどのように結びつけていくか検討が必要。

#### (文化・スポーツ関連)

- 民俗芸能の伝承活動への支援強化を期待する。神楽のハード整備、人材発掘に苦慮。
- ゴールデンウィークに開催される獅子舞フェスティバルの開催時期の再検討を願う。

### 活力あるまちづくり ～定住人口の増加に向けて～

#### (婚活・子育て・教育)

- 婚活について、もっと力を入れるべき。
- ようやく県立4年制大学ができたが、もっと学部が増えれば良い。
- 小中学校生徒の減少が顕著。子ども達が定着する施策が必要。

#### (就職・労働環境)

- 県内の優良企業を就職活動する学生にPRすると共に両親にもアピールが大切。
- 就職先がないから若い人が都会に流出する。長野市はもっと企業誘致に注力すべき。
- 首都圏の国の機関などを、地方に持ってこれないかと考える。

モニターの皆様から、多くのご意見・ご要望をいただきました。会派の政策提言の参考にさせていただきます。

平成30年10月29日(土) ホテルメトロポリタン長野にて

## 平成30年度 農政懇談会が開催されました。

この農政懇談会は、長野市農林部、市農業公社、市農業委員会、市農業協同組合協議会に加えて新友会議員により構成される経済振興議員連盟が一同に会し開催されたものです。

懇談会の中では、市農林部より市農業振興アクションプランの実施状況が報告され、本市農業の「将来像」を「三実一体で実現する力強い長野市農業」とし、未来につなぐ「(実り1)、魅力アップ(実り2)、みんなが主役(実り3)を実現するための方向性や重点施策について報告がありました。一方、JAながのからは、「3+1(サンプラス)の取り組み」について説明があり、①営農指導の強化、②販売事業の強化、③資材コストの抑制を図ることにより、「+1」安心して暮らせる地域社会づくりを目指すとしています。また、「JAグリーンの農業開発積立金」は、地域農業の振興と力強い農業づくりを目的に生産振興・農家支援対策のために導入されている事業で、果樹高品質安定対策事業他に充当されています。長野市農業振興条例の趣旨を踏まえ、積極的な農業振興が図られることを期待します。



### ごあいさつ

皆様方には、平素新友会の活動に対しまして、ご指導ご支援を賜り誠にありがとうございます。私たち新友会一同は、新しい年を迎え、長野市並びに地域の更なる発展のために引き続き努力してまいりたいと決意を新たにしております。現在の長野市は様々な課題を抱えていますが、とりわけ「少子高齢化による人口減少」、「災害時の安全・安心」対策が最重要課題であると認識しています。人口減少は、本市経済及び社会活力の衰退に繋がりがねません。高齢者をはじめ全ての方が健康を維持することで医療費の抑制を図るとともに、社会の一員として活躍し続ける意識改革が求められています。また、私たちを取り巻く様々な生活環境の整備が必要であり、従来から一歩進んだ新しい発想で議会や行政に臨むことが求められていると考えています。併せて、地球温暖化に起因すると考えられる従来経験したことのないような異常気象や、頻発する大規模地震に対する安全・安心をどのように担保していくかなど課題は山積しています。このような本市を取り巻く状況を踏まえつつ、新友会では独自で開催している「政策モニター研修会」をはじめ、様々な機会を通して、皆様のご意見をお聞きして着実に市政に反映できるよう活動してまいります。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



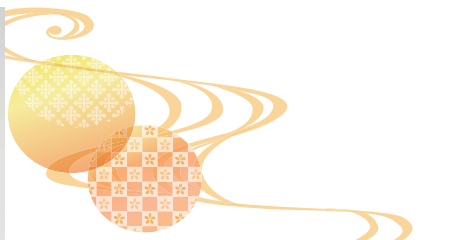
新友会 会長 小林 義直

### ごあいさつ

市民の皆様には、日頃より新友会に対し格別なご支援を賜りますこと、心より御礼を申し上げます。長野市はもとより地方における人口減少は、地域自治体の根幹に影響を及ぼす様々な課題を生じさせます。このような背景を踏まえ、長野市の財政は硬直化傾向にあり、社会保障費の増大傾向と相まって、財政出動にあたっては今後ますます選択と集中が求められ、平成31年度本市予算編成方針にも示される「魅力ある地域づくり」「にぎわいのあるまちづくり」「活力あるまちづくり」という3つのテーマに基づく「YOBOU」事業への重点配分が検討されています。併せて、連携中核都市構想に示される周辺自治体との連携強化のために、新たな長野市の役割を明確にしていこうと求められています。新友会議員は、市民の皆さんの声を市政及び議会活動に反映し、監視機能・施策形成機能を通して、更なる課題解決に向けた施策展開が図れるよう日々努力してまいります。そして、ITを活用した情報の共有を図るとともに、請願・陳情等々への市民参画が積極的かつ多様に反映される議会となるよう邁進してまいります。どうぞ引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



新友会 顧問(前会長) 高野 正晴



後列左から  
 つげ 圭二 北澤 哲也 若林 祥  
 松田 光平 中野 清史 野本 靖  
 西沢 利一 山本 晴信 手塚 秀樹  
 前列左から  
 寺沢さゆり 小林 治晴 高野 正晴  
 三井 経光 岡田 莊史 小林 義直  
 小泉 栄正 宮崎 治夫 市川 和彦

### 地方議員への厚生年金制度導入問題への取り組み

新友会と公明党議員団は議員提案により、9月議会本会議に「厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書(案)」を提出し、賛成多数で可決され、長野市議会から国に対して意見書を提出しました。新友会と公明党議員団は、全国の地方議会への抱えるなり手不足の課題を解決する一助として、意見書を提出いたしました。改めて市民の皆様にご報告させていただきます。

#### ◆地方議員の年金制度に関する経緯は…

地方議会議員年金制度が平成23年6月に廃止された際、衆・参両議院の総務委員会において「地方議会議員年金制度廃止後、概ね1年を目途として、地方議会における人材確保の観点から踏まえた新たな年金制度について検討を行う」旨の附帯決議が全会派一致で可決されたことを背景として、全国市議会議長会からの要請を受け、長野市議会においても各会派で検討を行ってきた経過があります。議員のなり手不足問題に対する一助としての厚生年金制度導入に関する意見書であり、全国都道府県議会では47都道府県中31道県(66%)が、全国市区議会では、815市区中342市区(42%)が、全国町村議会では926町村中677町村(73%)が意見書を提出しており、県内でも19市中11市(58%)が意見書を提出しております。長野市議会新友会及び公明党議員団は、このような全国的状況を踏まえ意見書提出に至ったものです。

#### ◆長野市への財政的負担は…

かつて導入されていた地方議会議員年金制度廃止に伴う受給資格者への給付は、平成の合併に伴う議員定数の削減などにより既に財政的軽減が図られています。また、首長や一般職員の年金制度に係る財政負担に対しては地方交付税による財政措置がなされており、地方議会議員が厚生年金に加入した場合は、制度上、同様の財政措置が施されるものと見込まれます。

#### ◆地方議会の抱える課題解決策は…

現在、特に町村議会においては議員のなり手不足が深刻化し、サラリーマンなどの議員への立候補を促すため、夜間議会の開催など様々な取り組みが図られてはおりますが、審議時間が足りないなどの課題もあり、抜本的な解決には至っていません。また、市議会や県議会など自治体規模が大きくなると自治体業務も拡大し、それを監視する地方議会議員も議会活動に専従する傾向が強くなっていくことも事実であり、サラリーマンとの兼業は難しい実態があります。

#### ◆地方議員の仕事と厚生年金制度導入については…

議員は、年4回の定例会での活動や閉会中の委員会審査に加え、政務活動など無定数の業務を担っており、議員報酬を市から受け取る関係は、サラリーマンの加入する厚生年金における被用者と雇主との関係に類するものと考えています。今日、就業者に占めるサラリーマンの割合は約9割にも達し、地方議会議員のなり手もサラリーマンからの転身者が増加してきています。地方議会議員が厚生年金に加入できれば、サラリーマンが議員に転身しても切れ目なく厚生年金の適用を受けことができ、老後や家族を心配することなく選挙に立候補できる環境が整い、多様で有為な人材が今まで以上に地方議会に集まることとなり、結果として市民の目線に沿った判断、決定をすることができるようになると考えています。

#### ◆新友会の立ち位置は…

私ども新友会は、単に長野市のことのみ考えるのではなく、全国及び県内の地方議会の実情を踏まえつつ課題解決のために適切な対応を図ってまいります。